

第1回 『花粉症意識・対策実態調査』

全国7エリア、20～50代の「花粉症」(※)男女1,600人に聞く

※『「花粉症」と自覚している」という質問に「はい」とお答えになられた方。

アサヒ飲料株式会社

アサヒ飲料株式会社(本社 東京、社長 菊地史朗)はこのほど、現代人の花粉症に対する意識と実態を探るため、第1回「花粉症意識・対策実態調査」を実施いたしました。

この調査は、“現代病”ともいわれ、全国で多くの方が悩まされている「花粉症」に対し、年代別、エリア別、または症状別に、どのような意識・対策の違いがあるのかについて、全国 7 エリア、1,600 人を対象に調査を実施、その声を集計したものです。

アサヒ飲料では、花粉症に効果があるといわれている有効成分「メチル化カテキン」を多く含むことで注目されるお茶品種「べにふうき」の研究を、2004 年以來、継続的に進めており、本調査はその一環として実施するものです。

<<トピックス>>

- 花粉症患者は全国で約 5,500 万人。
そのうち約 27.3%が 5 年以内に花粉症に。毎年約 423 万人がデビュー!?
- 現代人の「花粉症対策」は、「マスク」「市販薬」「処方薬」が上位 3 項目。
2011 年に向けた今後の注目対策は「空気清浄機」と「お茶・食品」
- 花粉症対策にお金をかけている人は全体の 78%。また、その金額の平均は 2,410 円/月。
市場規模は 1,033 億 8,900 万円(5,500 万人×78%×2,410 円)と推定!
- 「5 段階の花粉症対策レベル」を発見!
複数の対策法を合わせて実践することで高い効果が期待できるようです。
- 花粉症がづらいシーンは、「就寝前～就寝中～起床後すぐ」。
春の快適生活のポイントは、1 日のスタートである「朝」がカギ。「朝快適法」に注目!?

<お客様からのお問い合わせ先>

アサヒ飲料株式会社 お客様相談室 : フリーダイヤル:0120-328-124
アサヒ飲料 ホームページアドレス : <http://www.asahiinryo.co.jp>

第1回『花粉症意識・対策実態調査』の5つのポイント

花粉症患者は全国で約5,500万人。その内約27.3%が5年以内に花粉症に。
平均すると、毎年約423万人が“花粉症デビュー”!?

今回の調査によると、**花粉症の「自覚症状者*1」は43.7%、「花粉症有症者*2」は32.6%。**
2010年10月の日本の総人口1億2,738万人から想定すると、**約5,500万人が花粉症有症者。**

*1:医学的な「花粉症」の有無ではなく、『自分は花粉症であると思う』という自覚者。

*2:花粉症に関する以下の条件にひとつでもあてはまる「重症」に該当する人を対象とする。

(1日のくしゃみの回数が11回以上/1日の鼻汁の回数が11回以上/鼻閉が非常に強く、口呼吸が1日のうち、かなりの時間ある)

また、花粉症有症者のうち、「5年以内に発症した」という人は20~50代の各年代で20%以上。
「1年以内」に限定すると7.7%、**約423万人が毎年“花粉症デビュー”をしている**と推定されます。

現代人の「花粉症対策」は、「マスク」「市販薬」「処方薬」が上位3項目。
2011年に向けた今後の注目対策は「空気清浄機」と「お茶・食品」!

現代人の花粉症対策で「行ったことがある」という上位3項目は「マスク等を身につける」65.5%、
「市販薬を使用する」60.1%、「病院での処方薬を使用する」46.5%。

今後行ってみたい対策として、**実施意向が高い(興味があり、実践してみたい対策)注目の対策法**
は「空気清浄機」77.6%、「お茶を飲む」72.3%。

「花粉症対策」にお金をかけている人は全体の78%。
その金額の平均は「2,410円/月」!

花粉症にお金をかけて対策を実践している人は、「花粉症自覚症状者」全体の78%を占める。
また、その花粉症対策に用いている金額を**月当たり平均を算出すると、2,410円。**

この対策金額は自覚している症状の重さに比例し、
自覚症状のレベルごとに**「軽症…2,042円/中等症…2,064円/重症…2,782円」と上昇。**

「5段階の花粉症対策レベル」を発見!
複数の対策法を合わせて実践することで、高い効果が期待できるようです。

花粉症有症者には、**5段階の対策法レベルがある**ことを発見。

①マスクなど ②+市販薬レベル ③+ライフスタイル改善 ④+飲料・食品 ⑤+病院での治療
自覚している症状が重い人ほど、高いレベルの対策法をとっていることが分かる。

花粉症が辛いシーンは、「就寝前~就寝中~起床後すぐ」
春の快適生活のポイントは、“朝快適法”!

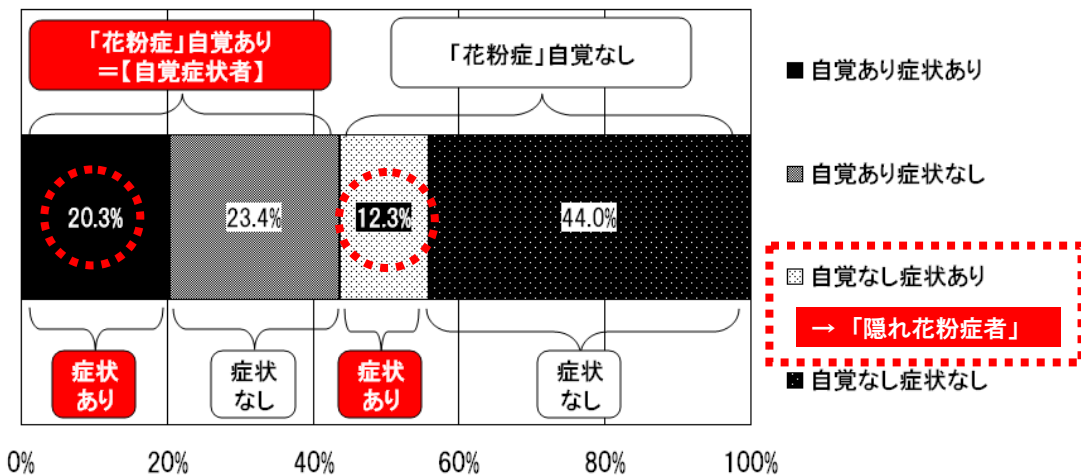
花粉症有症者にとって最も辛いシーンは睡眠の前後に集まっていることが判明。
1日のスタートである「朝」の“朝快適法”が、その日1日を快適に生活するためのポイント。

1. 年々増加する「花粉症有症者」ー2011年はさらに多くの人が花粉症に？

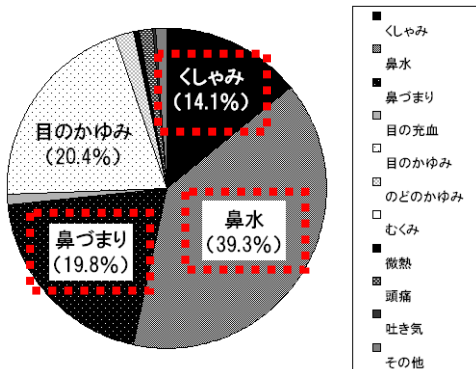
一言で「花粉症」と言っても、症状の違いやその重さなど、その人それぞれ違いがあります。そのため、症状が軽い場合などは、「自分は花粉症では無い」と思っている人もいます。今回の事前スクリーニング調査(N=11,251)によると、「自分は花粉症である」と自覚している人(=花粉症自覚症状者)は全体の43.7%となり、日本の人口から推定すると、全国で約5,500万人となります。

また、実際に「花粉症としての症状がある」という人(=花粉症有症者)は32.3%となっている。そこで注目なのは、**12.3%の人は「花粉症有症者でありながら、花粉症としての自覚がない」という「隠れ花粉症者」である**ということである。(グラフ①)

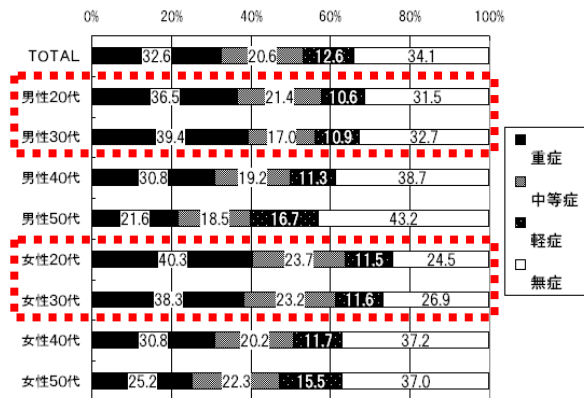
■グラフ①:花粉症の『自覚』と『実際の症状』の違い



■グラフ②:自覚症状者「最もつらい症状」



■グラフ③:性年代別「花粉症重度分布」



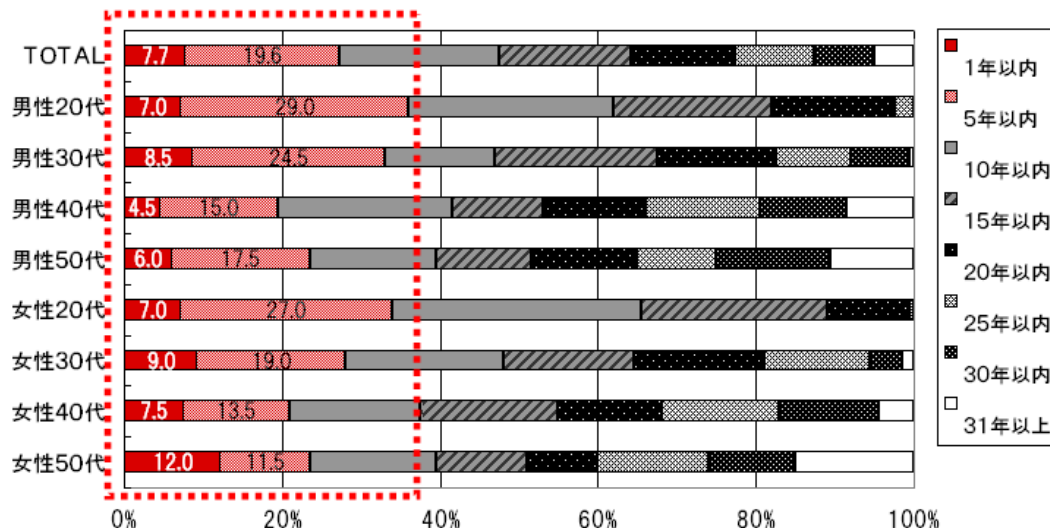
花粉症自覚症状者が最も気になる症状では、「鼻」に関する症状が合計で**73.2%を占める**。(鼻水39.3%、鼻づまり19.8%、くしゃみ14.1%)ついで、目のかゆみが20.4%と続いている。(グラフ②)花粉症有症者の重度分布を性年代で見ると、全体で32.6%が「重症」と区別されるが、中でも**20~30代男女は約40%弱が「重症」となり、花粉症の症状が重いことがわかる**。(グラフ③)

【中等症】以下の条件いずれかにひとつでもあてはまる。
 1日のくしゃみの回数が6回以上／1日の鼻汁の回数が6回以上／鼻閉が強く、口呼吸が一日のうち、ときどきあり

【重症】以下の条件いずれかにひとつでもあてはまる。
 1日のくしゃみの回数が11回以上／1日の鼻汁の回数が11回以上／鼻閉が非常に強く、口呼吸が一日のうち、かなりの時間あり

花粉症自覚症状者の「花粉症期間」を見ると、どの性年代においても約20%以上が「5年以内」と回答。花粉飛散量の多かったと言われる2008年頃に発症した人増加したと考えられる。また、「1年以内」と回答した「花粉症新人」は全体の7.7%と、推定で400万人以上。2010年は花粉の飛散量も莫大になることが予想されており、過去最高の「花粉症デビュー」が生まれるかもしれません。(グラフ④)

■グラフ④：花粉症自覚症状者の「花粉症期間」



2. 進化する花粉症対策－2011年の注目は「空気清浄機」と「お茶・食品」

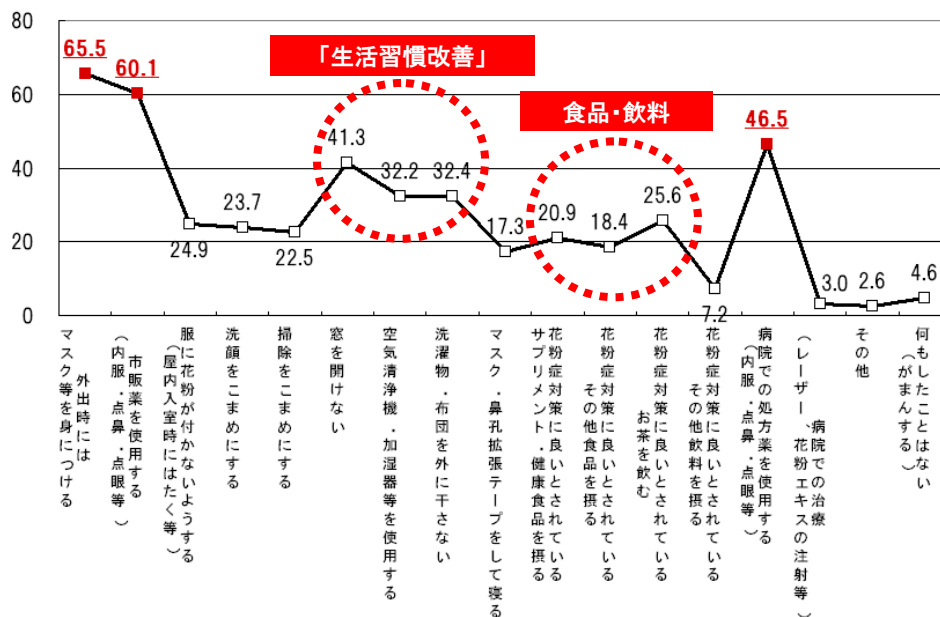
実際に花粉症自覚症状者が、花粉症に対して行っている対策法の現状と意向を調査。

これまでに実際に行ったことのある対策としては、最も身近で手軽な対策法であると考えられる、

「マスク」や「市販薬」が60%を超える経験率。また、病院での処方薬も50%弱と比較的高い。

一方で、生活習慣改善や、食品・飲料の摂取などの経験率は約30%前後とまだまだ低い。(グラフ⑤)

■グラフ⑤：今までに行ったことのある「花粉症対策」




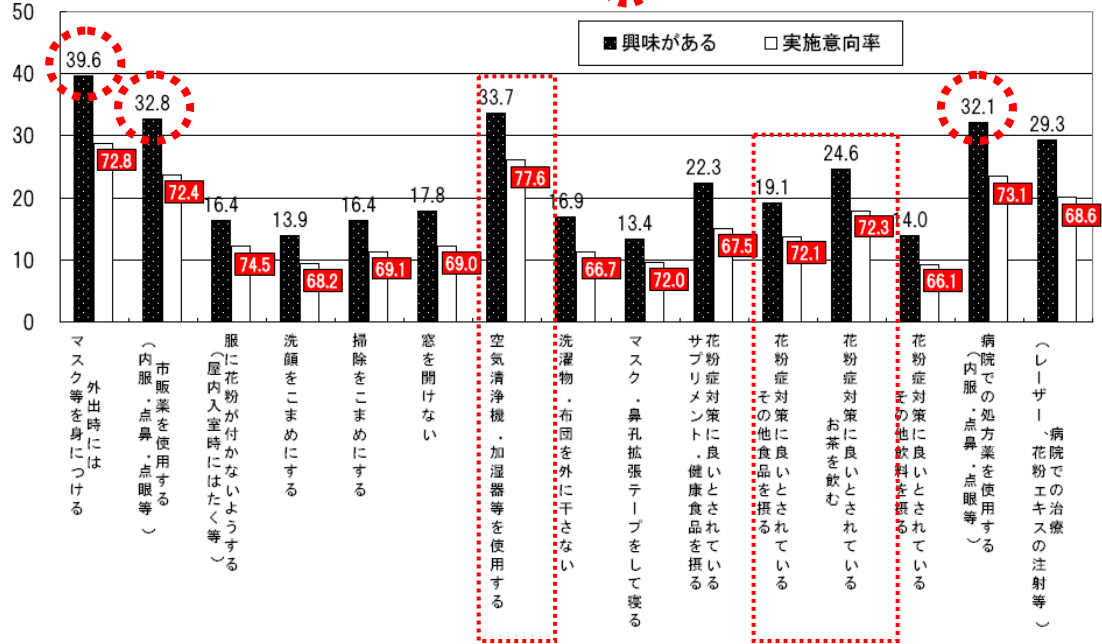
実際の実施経験のある対策法以外で、今後注目の対策を調査。(グラフ⑥)

興味が強く、その興味がある人の中で「実践してみたい」という実施意向率を合わせて集計すると、

「空気清浄機・加湿器等」が77.6%、「食品」が72.1%、「お茶」が72.3%と高い。

実施経験率もまだまだ低い、この3つの対策法が2011年花粉症への注目の対策法となりそうだ。

■グラフ⑥:「花粉症対策」への今後実施意向率  ...すでに実施経験の高い項目。

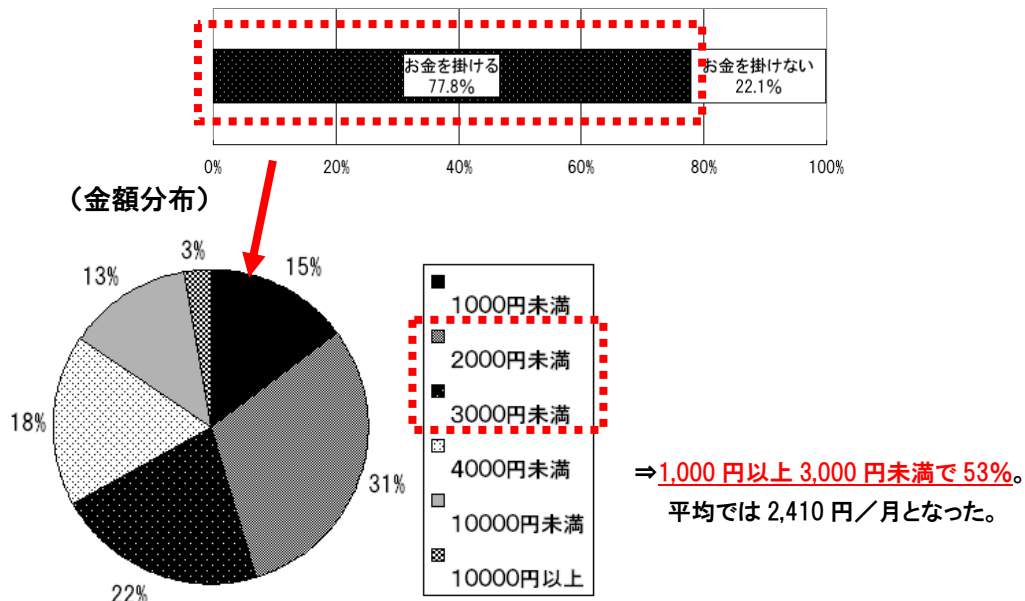


3. 花粉症対策の“予算”—症状の重度と対策にかける金額の関係

花粉症自覚症状者で花粉症対策に「お金を掛けている」と回答した人は78%。

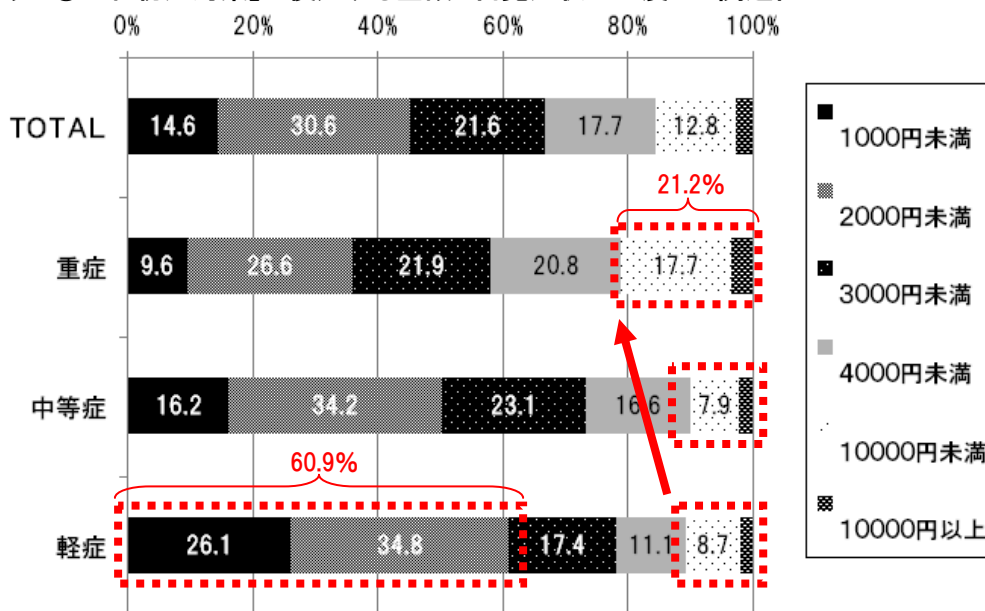
また、その金額の1ヶ月平均金額を算出すると、2,410円という結果となった。(グラフ⑦)

■グラフ⑦:「花粉症対策」に使用する金額



また、花粉症自覚症状者の自覚症状度別に金額をみると、**重症の人では4,000円以上使っている人が21.2%**いるなど、やはり花粉症対策にお金をかけて、しっかりと対処をしていることが分かる
逆に**軽症の人は2,000円未満が60.9%**と、比較的簡易的な対処法で、お金もかけていない。
自覚している症状の重さによって、その対策法の中身や金額も変わってくるようだ。(グラフ⑧)

■グラフ⑧:「花粉症対策」に使用する金額と自覚症状の重度との関連性



4. 花粉症対策に“5段階のレベル”を発見一試みる対策法にも順番があった！

花粉症有症者の花粉症対策法を見ていると、おもしろい法則があることが分かった。

さまざまな対策法がある中で、ある程度試みる順番があり、**そのレベルに5段階のステージがある**ことが分かった(グラフ⑨)

○レベル1 … 『コンビニ型』

…外出時のマスクなど、コンビニで手軽に購入できるレベルのアイテムで対策を行うレベル。

○レベル2 … 『ドラッグストア型』

…市販薬や目薬、処方薬など、ドラッグストアなど簡易で一般的な薬で対策をし始めるレベル。

○レベル3 … 『ホーム型』

…根本的に「花粉」との接触を防ぐなど、家庭内のできる身近な生活改善の対策を始めるレベル。

○レベル4 … 『スーパー・通販型』

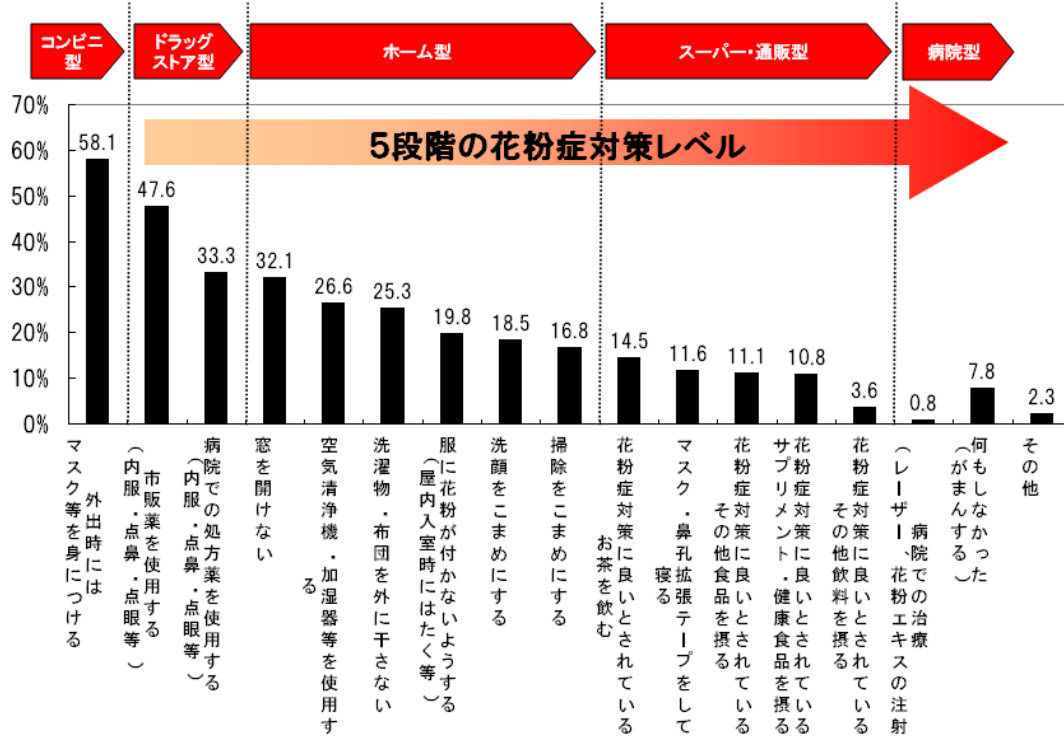
…スーパーや通販などで、花粉症に良いといわれる食品や飲料を探して購入し、自分の体質改善などを試みる、中長期的な対策を始めるレベル。

○レベル5 … 『病院型』

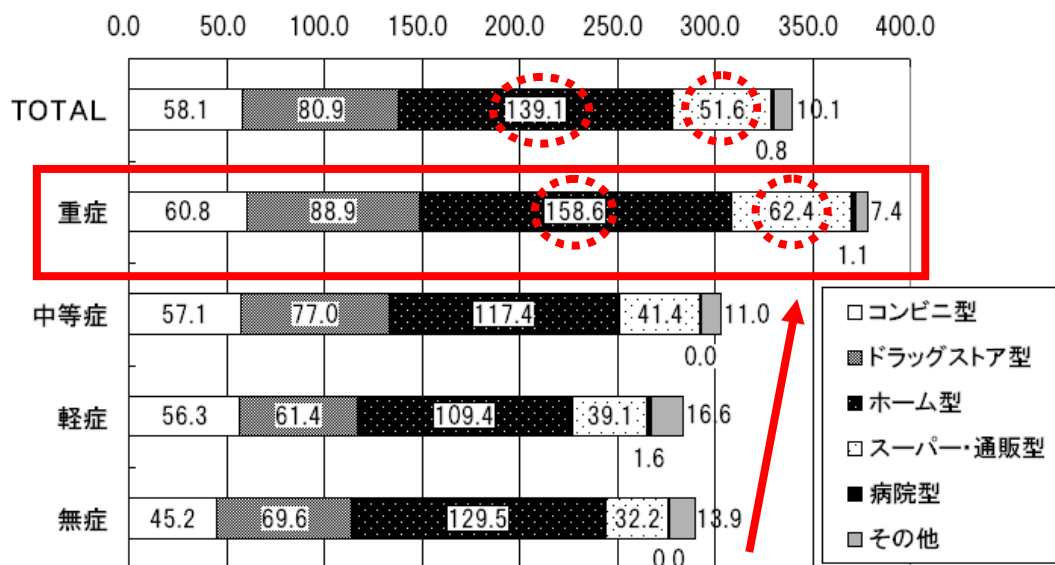
…その「花粉症」シーズンを乗り切るために、花粉症のシャットアウトを考えた治療を行うレベル。

その対策についても、花粉症の自覚症状重度と比例しており、**重度を重く感じている人ほど、実践している対策法の総量も多く、高レベルの対策をしている人の割合も高い**ことが分かった。(グラフ⑩)
 特に重症と認識している人は「スーパー・通販型」「ホーム型」の増加率が大きいことが分かる。
 ここから 2011 年の新しい対策法を発見することができるかもしれない。

■グラフ⑨:「現在行っている「花粉症対策」



■グラフ⑩:「花粉症対策レベル」と自覚症状の重度との関連性



5. 花粉症が辛いシーンは「朝」—朝イチの「朝快適法」がその日の快適生活を定めるポイント

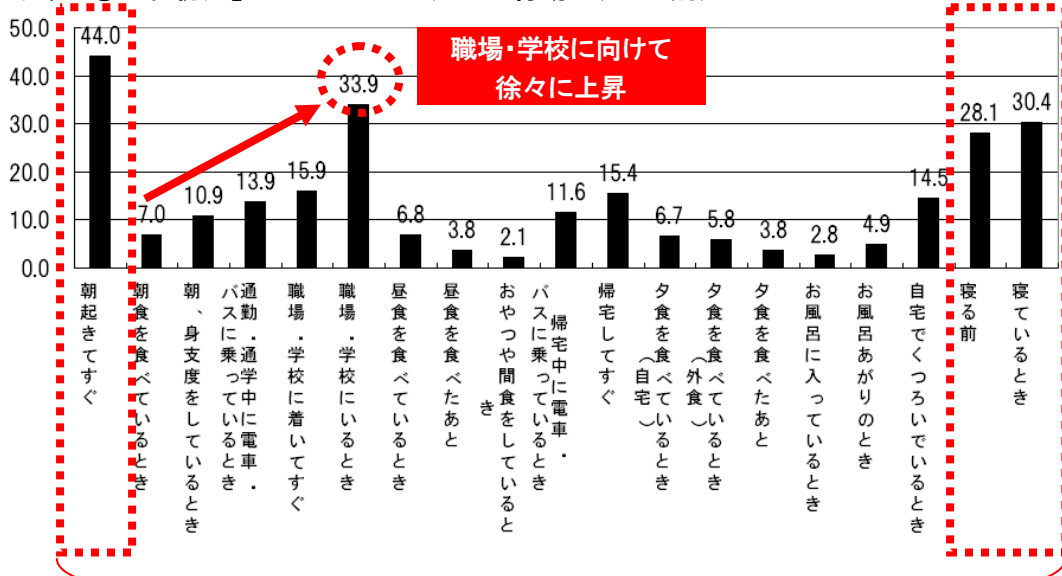
花粉症自覚症状者に「辛いシーン」を聞いたところ、「朝起きてすぐ」と回答した人が44.0%とトップ。

その他にも「寝る前」が28.1%、寝ているときに30.4%と、睡眠の前後が比較的高いことが分かった。

また、「学校・職場にいるとき」も33.9%と高く、「朝起きてから学校・職場に到着するまで」の朝時間が、その日の快適生活を送るための対策をとるには重要な時間帯であると考えられる。

その時間帯に、自分に合った「花粉症対策」を行う「朝快適法」が大事になりそうである。(グラフ⑪・⑫)

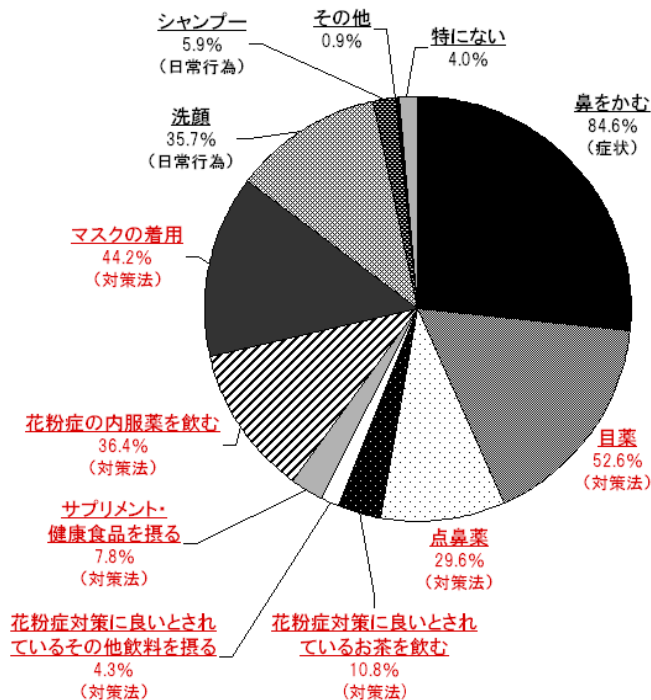
■グラフ⑪:「花粉症」が辛いシーン(1日の行動パターン別)



職場・学校に向けて
徐々に上昇

睡眠前後の割合が高い

■グラフ⑫:「花粉症」シーズン中の朝の行動



★朝の花粉症対策法

マスク・目薬などの
「外からの」対処法
+
食品・飲料系の
「中からの」対処法

“2011年の朝快適法”

- ①目薬(52.6%)
- ②マスクの着用(44.2%)
- ③内服薬(36.4%)
- ④点鼻薬(29.6%)
- ⑤お茶を飲む(10.8%)
- ⑥サプリメント・食品を摂る(7.8%)
- ⑦その他飲料を飲む(4.3%)